

0才児 年間指導計画

上庄保育園

保育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○保健的で安全な環境のなかで、常にからだの状態を観察しながら快適に生活できるようにする。 ○個々の子どもの生活リズムや生理的欲求・依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。 ○安全で適応的な環境のなかで、発達に見合った活動を十分楽しめ、身体諸機能の発達を促す。 			共育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡帳や懇談会をとおして、家庭との連携を密にして、子どもの成長発達に関心をもちあい、成長を喜びあう関係をつくる。 			
2か月～3か月	4か月～6か月	7か月～9か月	10か月～12か月	13か月～15か月	16か月～18か月	19か月～23か月		
育つてほしい子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ミルクや湯冷まし、果汁などを哺乳瓶で飲む。 ○おむつかれたり、空腹になると泣くときがある。 ○昼と夜の区別がはっきりしないが昼夜起きている時間が多くなってくる。 ○沐浴中気持ちよさそうに足をバタつかせる。 ○腹這いにすると頭を持ち上げてくるようになり、首がすわってくる。 ○鮮明な色や近くのものの追視や、明るい方向や物音のする方向へ頭を動かす。 ○あやされると声を出して笑う。 ○ガラガラやおしゃぶりを少しの間握り、しゃぶったり手をなめたりする。 ○音や話し声のほうに顔を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○果汁・スープや粥状の食事をスプーンから飲める。 ○離乳食が2回食から3回食になる。 ○おまるに短時間座れるようになる。 ○眠る、食べる、あそぶりズムがしっかりしてくるとともに機械よく眠れる。 ○腹這いの後ずさりから前進這い、高道いかはじまる。 ○首のすわりがしっかりとしてくる。 ○介助されながらの寝がえりから、自力で寝がえる。 ○立たせると足をピョンピョン突っぱる。 ○あやされると声を出して答え、また、あやされることを期待する。 ○人見知りがはじまる。 ○注視できるようになり、手渡された玩具をにぎったり、近くのものへの両手を伸ばしてつかめる。(目と手、目とものの協応のはじまり) ○抱いてほしいとき、親しい人の動きを見て追う。 ○音声のくり返しがはじまる。(アーアー、ウーハーなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○流動食から半固形食を舌や歯ぐきでつぶして飲み込める。 ○離乳食が2回食から3回食になる。 ○おまるに短時間座れるようになる。 ○眠る、食べる、あそぶりズムがしっかりしてくるとともに機械よく眠れる。 ○腹這いの後ずさりから前進這い、高道いかはじまる。 ○首、手足がしっかりとし、お座りが安定する。 ○禁止のことばやほめことばがわかる。 ○よく抱いてくれる人を見れば抱いてもらいたがる。 ○顔にかかった布を取りはらうことができる。 ○片手につつ持っていても、反対の手にもう一つ渡すと両方持てる。 ○他の子どもに興味を示す。 ○身近な人やものの模倣が盛んになる。(イヤイヤ、バイバイなど) ○抱いてほしいとき、親しい人の動きを見て追う。 ○音声のくり返しがはじまる。(アーアー、ウーハーなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物の種類や量も増え、味にもなれ、何でも食べる。 ○固形食をよくかんで食べる。 ○自分でコップを持って飲もうとしたり、スプーンを使って食べようとする。 ○おまるに座らせるとタイミングが合えば排尿する。 ○徐々に睡眠が午後からの1回寝となり、時間も一定していく。 ○顔や手をふくと気持ちはさそうにする。 ○片手につつ持っていても、反対の手にもう一つ渡すと両方持てる。 ○つかまり立ちから伝い歩きが盛んになる。早い子は歩きはじめめる。 ○ビンのふたを開けたり、小さいものを指でつまめる。 ○階段に這い登ったり、探索活動が盛んになる。 ○自分の名前を呼ばれるとそのほうを見たり、声を出す。 ○簡単なことばが理解できる。 ○うたや手あそびなどを喜び、まねをして、声を出して喜ぶ。 ○絵本のなかの“食べ物”や、“身近なもの”に興味を示し、「マンマ」「ワンワン」など片言を発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年少幼児食になれ、手づかみをするときもあるが、スプーンやフォークを使って食べるようとする。 ○一定間隔でおまるに座らせると排尿することがあり、出ると態度やぐさで知られる。 ○衣服の脱ぎ着のとき、意識して、介助されやすいように手足を動かす。 ○水が好きになり、流水で手を洗おうとする。 ○散歩を好み、不安定であるが、走ったりする。 ○不安定ながらも、目的に向かって一人歩きができる。 ○高いところへよじ登ったり降りたりして喜ぶ。 ○ことばでいい表わせないことは、指さしや身振りなどで示そうとする。 ○簡単なことばと動作が一致するようになる。 ○一人で好きなことをしてあそぶようになる。 ○戸外に出たがる。 ○音の出る玩具を好み、打ったり、たたいたり、吹いたりして喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○介助されるときもあるが、スプーンやフォークになれ、こぼすが最後まで一人で食べるようになる。 ○食事前後のあいさつを態度でする。 ○促されるとおまるに座り、排尿すると態度やことばで知られる。 ○衣服の脱ぎ着に興味をもち、自分でズボンに足を入れようとする。 ○促されて流水で手を洗う。 ○歩行による探索活動が活発になり、まわりの事物に 관심を示す。 ○人形やぬいぐるみを抱きしめて愛情を示はじめる。 ○1語文で話せる。 ○簡単な受け答えができるようになる。 ○他人への興味が強くなり、自己主張も強くなる。 ○玩具の一人占めや奪い合いをしたりする。 ○一人あそびを楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやフォークになれ、こぼすが最後まで一人で食べるようになる。 ○排泄前になんらかの態度やことばで知られるときがある。 ○一人で眠れる。 ○簡単な上着やズボンを脱いだり、着たりする。 ○促すと手をふいたり、顔をふいたりする。 ○他人のものと自分のものとの区別がつく。 ○補助されて高いところからとび降りたり、ぶらさがったり、走ったりできる。 ○要求を2語文で話せるようになる。 ○自分の意思を簡単なことばや態度で伝えることができるようにする。 ○犬を見て「ニャンニャン違う、ワンワン」というなどの分化がはじまる。 ○身近な音楽に興味を示しリズムにあわせて身振りをまねる。 ○身近なあそびを表現した絵本(イナイナイバーグ)を喜んで見る。 ○なぐり描きに興味を示はじめる。 	
養護・保育のポイント(環境づくりを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○ミルクは抱いてゆったりした気持ちで飲ませ、飲ませたあとには排気させる。 ○おむつの取り換えは、ことばをかけ、マッサージをしながらこまめに換える。 ○個々の生活リズムに合った安心した眠りと、目覚めが保障される環境を整える。 ○気温や体調に留意して、沐浴を開始する。 ○落ち着いた雰囲気で抱いたり、語りかけやほおずりなどして、人とのかかわりを楽しめる。 ○快いメロディーを聞かせたり、色の鮮明な玩具であやし、追視、追跡を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食は個々のベースに合わせて食品の味や舌ざわりの違った献立で徐々にスプーンから食べることになれさせていく。 ○眠いときはぐっすり熟睡でき、食事、あそびのリズムがはっきりするようになる。 ○子どもが不快な表情を示したときは受け入れ、不快の原因を取り除く。 ○個々の発達に合った外気浴や摩擦をはじめ、動きを説く動きかけをする。 ○ことばかけはやさしく、はっきり、豊かな感情を込めてあやしたり、話しかけたりして嗜語を育む。 ○握る、振るあそびのできる玩具を持たせ、あそび相手をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食は舌や歯ぐきでつぶせるものに留めし、食品の種類や味の違ったものを増やしていく。 ○3回食へ移行の準備をする。 ○眠りは個々のリズムでぐっすり熟睡できる環境を整える。 ○母体の免疫がなくなり、病気にかかりやすくなるので健康管理に気をつける。 ○伝達の意図をもっているサインを敏感に受けとめ応答していく。 ○ふれあいあそびなどで動きかけ、模倣活動や片言を促す。 ○斜面やでこぼこしたところなどいろいろなところで腹這いや這い活動を楽しめる。 ○斜面やでこぼこしたところなどいろいろなところで腹這いや這い活動を楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食は歯ぐきから歯でかめる固さのものにしていき、しっかりとかんで食べる習慣をつける。 ○全身運動が活発になるのでこまめに沐浴や着替えをして清潔に心がける。 ○安全な環境を整えたなかで個々に合った探索活動や這い這い、伝い歩きなど、移動運動を楽しめます。 ○手あそびや模倣あそびを楽しめながら、日常生活に必要な身振りに興味をもたせる。 ○幼児語や幼児音を受けとめ、伝えあう喜びを感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの扱いやすいスプーンやフォークを持たせ、自分で食べようとする気持ちを大事にする。 ○排泄場所は楽しい落ち着ける環境にして、便器には友だちと一緒に座らせる。 ○個々の排泄の間隔をつかみ便器に誘う。 ○おもらしをしたときは、人目につかない場所でやさしく清拭して取り替え、気持ちよさを味わわせる。 ○手あそびや模倣あそびを楽しめながら、日常生活に必要な身振りに興味をもたせる。 ○幼児語や幼児音を受けとめ、伝えあう喜びを感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○こぼしながらもコップやスプーンを使って食べる意欲を大事にし、要求に応じてこぼした分をおかわりする。 ○衣服の脱ぎ着など自分でしようとすると気持ちを大事にして、できたときは“ほめ”励まし意欲をもたせる。 ○自然にふれ、おもいきりからだを動かしたり、探索活動を楽しめます。 ○子どもから話しかけてきたときはしっかり受けとめ、答えるようにする。 ○絵本の読み聞かせで、簡単なことばのくり返しや模倣を楽しめます。 ○戸外あそびや散歩を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気のなかで食事ができるようになる。 ○簡単な身のまわりのことに興味をもたせ“できる”喜びを味わわせ自信につなげていく。 ○安全に運動できる環境を整え全身運動を十分楽しめる。 ○イメージを豊かに広げられる環境のなかでつもり・見立て・ごっこあそびが楽しめるようになる。 ○絵本を読んで聞かせ、ことばのやりとりを楽しめる。 ○リズムあそびを楽しめたり、砂や粘土あそび、描画活動などを経験させるようになる。 	
親との共育のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ母乳栄養にして、授乳のときは抱いて飲ませる。 ○目覚めているとき、一人にしないで語りかけたりしてあそび相手になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園や家庭での離乳食を伝えあい、手作りの離乳食を食べさせる。 ○離乳食の薄味の意義を知り味つけに留意する。 ○話しかけや玩具でしっかりあそび相手になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食は空腹時に与えるようする。 ○感染症が起こりやすくなるので健康状態の連絡をとり合う。 ○あやしあそびや模倣あそびで、あそび相手になり、甘えの欲求を満たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ方を見ながら離乳食から年少児食に移行する。 ○かんで食べる習慣をつける。 ○歩かせることを急がせないようにして、遠い遠いを十分させる。 ○安全に気をつけ活発な運動を楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの消化機能の発達は完全でないことを知り、食事や量に気をつける。 ○時間をみはからっておまるに誘い、排尿したらはめる。 ○ことばのやりとりや探索活動を楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の着脱に興味をもちだしたこととを知り、自分でしようとするときは見守り、励ます。 ○子どもの気持ちを大事にしてしっかり受容する。 ○子どもからのことばはしっかり受けとめ応答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりの始末を自分でしようすることを認め、自信をもたせていく。 ○親と子のふれあいあそびやことばのやりとりを十分楽しめる。 ○本を読み聞かせる機会を多くもつようする。 	

平成 年度

0~1歳児

年間カリキュラム指導計画

上庄保育園

回 数		主 任	保 育 士		担 任
--------	--	--------	-------------	--	--------

年 の ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の欲求を受け止め、保育者との安定した関わりの中で、自分の気持ちや欲求を表わせるようにする。 安全で活動しやすい環境の中で、全身を使った遊びや探索活動を十分に行い、活動範囲を広げながら、歩行を確立する。 個人差に留意しながら、歩行の完成、発語への意欲へとつなげてゆく。 ・食事、排泄、着脱など、自分でやろうという意欲を育ててゆく。 											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月(期) のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 保育者に見守られ関わる中で好きな遊びを楽しむ。 戸外で遊び、開放感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの事に興味を持ち、保育者に見守られながら、自分でやってみようとする気持ちを持つ。 水、砂、土などに触れ、全身を使った夏の遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に手伝ってもらいながら、身のまわりのことを自分でしようとする。 色々な遊びを通して、十分に身体を動かすことを楽しむ。 戸外遊びや散歩を楽しみ、身近な秋の自然に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身のまわりのことは、自分でできるようになる。 保育者や友達との関わりの中で、言葉のやりとりを楽しむ。 進級することの喜び、期待感をもつ。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、保育者に親しみ気持ちを受け取ってもらいたいながら、安心して生活する。 スプーンを使って、一人で食べようとする。 保育者のそばにいて、安心して食べられるように配慮する。 一人一人の食べる量を知り、それに合わせて調整する。 保育者に見守られて眠る。 保育者や友達と喜んで食事をする。 促されてトイレに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境の中で、食事、排泄など保育者に手伝ってもらいたいながら、少しずつ自分でやってみる。 促されてトイレに行き、タイミングが合えば、排泄する。 顔を拭いてもらったり、手を洗ってもらったりして、気持ちよくなったを感じる。 好きな食べ物や色んな食べ物に親しみ、喜んで何でも食べられるようになる。 服が汗などで汚れたりしたら、保育者から着替えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の言葉かけでトイレに行き、見守られて排泄する。 食事、排泄、着脱など保育者に見守られながら、自分でやろうとする。 外での活動後は、水分の補給をこまめに行うと共に十分な眠りと休息をとり、体調の変化に十分気を付ける。 身の周りを清潔にし、様々な活動の衛生管理に留意する。 友達の食べる様子がよく見えるように席の工夫をし、食べることに対して意欲が高まるようになる。 服が汚れた時は、保育者と一緒に着替えをする。 一人一人の生活リズムの中で、安心して眠る。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、着脱などを自分でするという気持ちを持ち、出来たことを喜ぶ。 自分のしたい事や、して欲しい事を言葉や仕草で相手に伝えようとする。 ボタンかけ、スナップのとめ、はずしなどに 관심を持ち、自分でしようとする。 自分から進んで、食べようとする意欲を持ち、全部食べられた事を喜ぶ。 「つまむ」「丸める」「めくる」などの指先を使った遊びをする。 								
内 容 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に見守られ、玩具で遊ぶ。 歌を聞いたり、指遊びを楽しむ。 好きな遊びができるように玩具や場所を準備し、危険のないように見守る。 ゆったりとした雰囲気の中で、子供の不安や欲求に気付き、スキシップを十分とり、信頼関係を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の話しかけを喜んだり、自分から片言ではあるが、話しかけることを楽しむ。 保育者と一緒に歌を歌ったり、手遊びをする。 リズムに合わせて、自由に身体を動かす。 自分でやりたいという気持ちを受け止め、励ましたり見守ったりしながら、意欲を高めてゆく。 水遊びを十分楽しむが、子どもが玩具、水等を口に入れたりしないよう、衛生安全面に気を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩や園庭遊びを楽しみながら、草花や虫に触れて興味をもつ。 「走る」「登る」「くぐる」「またぐ」など全身を使った遊びや手、指などを使う遊びを楽しむ。 自然にふれて、いろんな物に興味を持って遊ぶ。 友達に关心を持ち、一緒に遊ぼうとするが、トラブルも増えてくるので、保育者がお互いの気持ちを受け止め、仲立ちとなり、かかわっていく。 動きが活発になり、行動範囲も広がってくるので、身体を十分に動かすことの出来る遊びや環境を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達とごっこ遊びや劇あそびを楽しむ。 自分でしようとする気持ちを大切にし、言葉かけをしたり、できた時は、しっかり認めて、その状況に応じて援助する。 友達との遊びの中で、言葉のやりとりや、気持ちを表現する楽しさを感じられるように援助する。 進級することを伝え、新しい生活に慣れるよう、2歳クラスに遊びに行く機会をつくる。 								
	ピクニック 誕生会	上庄めぐり 職員の出し物	上庄めぐり クラスの出し物	上庄めぐり DVD	下庄土手 室内ゲーム	セミ取り 職員の出し物	DVD 室内ゲーム	上庄めぐり 職員の出し物	上庄めぐり クリスマス会と一緒にDVD	上庄めぐり ばら、たんぽぽ もも、ひよこの出し物	上庄めぐり お別れ会と一緒に	
絵画	なぐり描き、父母プレゼント作り											
リズム・うた	リズム運動					遊戲			遊戲	遊戲		
体育あそび	遊戯、体操	遊戯、体操	砂遊び	水遊び	水遊び	かけっこ、体操	ボール遊び	マラソン	マット遊び	押し草遊び	トンネル遊び	階段遊び
行事	入園式 花まつり 内科検診 足型取り	上庄公民館、小学校運動会	歯科検診 尿検査	ふれあい保育(きく) 七夕おはなし会 (きく、ばら) 尿検査 プール開き	上庄老人会との ふれあい(きく) 七夕まつり (おばけ屋敷) プール閉め	母の会総会 ダンスの練習 交通教室	親子運動会、敬老祭 足型取り 内科検診	顛中、職場体験 芋まんじゅう作り(きく) 七五三参拝 ふれあい保育(ばら) お店屋さんごっこ 就学前の健康診断	もちつき大会 マラソン大会 クリスマスお話し会(きく、ばら) お店屋さんごっこ 歯科検診	クッキー作り(きく) マラソン大会 クリスマスお話し会(きく、ばら) お店屋さんごっこ 歯科検診	豆まき、記念写真撮影 小学校訪問(きく) 総会、講演会 尿検査	お別れ遠足 お別れ会 足型取り(きく) 入園説明会 卒園式

平成 年度 年間指導計画

2歳～3歳

園長	主任保育士	担任

I期(4月～5月)				II期(6月～8月)			III期(9月～12月)			IV期(1月～3月)			
ねらい	・新しい環境に慣れ安定して過ごす。 ・保育士に不安や欲求を受け止めてもらしながら自分の好きなあそびを見つけて楽しむ。				・援助されながら、簡単な身のまわりの事を自分でしようとする。 ・夏ならではの水あそびを経験する。 ・自己主張のぶつかり合いの中で、少しずつ相手の気持ちに気付く。			・自分でできる事に喜びを感じ、身のまわりの簡単なことを自分でする。 ・体をたくさん動かす楽しさを感じる。 ・身近な自然に触れながら保育士や友だらとあそぶ事を楽しむ。			・進級に期待をもち、意欲的に生活しようとする。 ・っこあそびや簡単な集団あそびを楽しむ。 ・保育士を仲立ちとして、言葉のやり取りをする中で友だちとのかかわりを広げる。		
	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	
食育・健康	スプーンやフォークを使って食べる。 足踏まれトイレに行き排泄する。 手助けされ簡単な衣服を着替てる。 静かに午睡をする。	食事排泄衣服の着脱は、落ち着いて受けとめ安心して過ごせるようできるように行なう場所や服番を決める。	ひとりひとりの気持ちを大切に受けとめ安心して過ごせるようにし信頼関係を築いていく。	苦手な食べ物も少しずつ食べようとする パンツに着替え脱され排泄する。 手助けされながら水着に着替え衣服を脱付する。水遊びを十分楽しむ。	机・椅子・台ふき ブルーマット 道具	食べなくなるような声かけをしていく。個々の排泄の間隔に合わせて声かけをしていく。自分でやりたい気持ちを大切に援助する。運動遊びで体を動かす。	スプーンやフォークを下から持つようにする。パンツ、ズボンを脱がずに排泄をする。簡単な衣服は自分で着脱しようとすると、運動遊びで体を動かす。	机・椅子・台ふき 平均台・マット ボール	箸を使って食事をする。一日パンツで過ごすことでできる。簡単な衣服は自分で着脱する。リズム運動を模倣してする。	机・椅子・台ふき	正しい持ち方を教える。おもしろいとしても注意せず早めにトイレに行くように促す。体を動かす事の楽しさを伝える。		
人間関係	生活に必要な接觸をする（おはよう、さようなら）、保育士が仲立ちして友達と関わって遊ぶ。	ままごとハンケチブロック	ぬいぐるみ	目線を子どもの高さに合わせ換を交わす。保育士と一緒に遊び事でやり取りの面白さを伝えていく。	ぶつかり合いの中で相手が泣いてしまうのを見て相手にも感情がある事を知る。		顔番や約束が分かり得とうとする姿見られる。自分の思いや要求を言葉で伝えようとする。		一緒にやってみると事で不安や戸惑いをなくしていく。遊びや生活中で顔番を守ことの大切さを繰り返し教えていく。		っこ遊びのイメージが広がるようになど見たり遊びを楽しむ。保育士の指示や合図を聞いて行動する。簡単な集団遊びを楽しむ。		
環境	散歩に出かけ春の草花や小動物を見たりする。誘導ロープをしっかりと持ち前を見て歩く。	誘導ロープ 紅白帽子	誘導ロープ	子供が興味関心を持てるように声かけをしていく。誘導ロープをしっかりと持つようにする。車等通る時は安全な場所へ誘導	積み木やブロックで色々な物を作って遊ぶ。	積み木 ブロック 翻訳	の思いを保育士が言葉にして伝える。子供が自ら觸り満足するまで触れあって遊べるような道具を準備する。	誘導ロープ 道具を十分に準備する。	言葉で伝えきれない時は気持ちを読み取り代弁して言葉にする。自然と十分に觸れるように安全管理に注意をする。様子を見	毎朝の天気を知る。簡単なパズルで遊びに必要な物を準備する。カード・パズル	を聞く事の大切さを伝えていく。天気の種類を知らせる。絵をつなげていく事のおもしろさを伝える。子供の様子を見守りながら安全に留意する。		
言葉	絵本や紙芝居を見て楽しむ。	絵本		したい事やしてほしい事を言葉で伝えようとする。		準備する。出来上がった事への喜びを共感する。自我の育ちを受けとめる事で子供の自信をつなげていく。	保育士やお友達の言葉に同心を持ち組みを持って話す。		守りながら遊びが広がるように言葉かけをする。子供が話そうとする意欲を見守りながら親しみを持って接してしっかりと複線を合わせ耳を傾ける。	物語絵本を集中して聞く。っこ遊びをする中で言葉のやり取りを楽しむ。	絵本	子供が親しみやすい物語を選ぶ。保育士が場面に適した言葉を使う事で子供も言葉を意識する。	
表現	歌を歌ったり、簡単な手遊びをする。音楽に合わせてお遊戯体操をする。	オルガン CD		歌を歌ったり簡単な手遊びをする。粘土で自分の好きな物を作る。季節の歌や子供に親しみのある歌と一緒に歌い楽しむ。踊りながら言葉で歌を伝えていく。	歌を歌ったり簡単な手遊びをする。粘土板（使用後は石鹼で手を洗う）	オルガン・粘土 粘土板（使用後は石鹼で手を洗う）	季節の歌や子供に親しみのある歌と一緒に歌い楽しむ。色々な形に変化する事を知らせる。	クレヨン 画用紙	いっぱいに描く楽しさを味わえるようにする。季節の歌や子供に親しみのある歌と一緒に歌う。	テーマに沿って折り紙やのりを使い製作を上げる。自分の描く物をイメージし絵を描く。	折り紙・色画用紙のり・のり合・クレパス・画用紙	自分で製作したことによる満足感を味わえるように簡単な製作物を準備する。何を描いたか尋ね助言しながら進めていく。	
安全管理	・避難訓練 ・固定道具の点検整備	がら言葉で動きを伝えていく。				・避難訓練 ・固定道具の点検整備	・避難訓練 ・固定道具の点検整備			・避難訓練 ・固定道具の点検整備	・固定道具の点検整備		
保健計画	・内科検診（4月） ・足の型とり（4月） ・身体測定					・歯科検診（6月） ・身体測定	・足の型とり（10月） ・歯科検診（12月） ・内科検診（10月） ・ぎょう虫検査（12月） ・身体測定	・足の型とり（10月） ・歯科検診（12月） ・内科検診（10月） ・ぎょう虫検査（12月） ・身体測定	・身体測定				
行事	(4月)・入園式 ・花祭り ・遠足（大牟田動物園） ・運動会・ピクニック ・誕生会 →	(6月)・ブルーバード ・ピクニック ・誕生会	(7月)・祇園祭 ・ピクニック →	(8月)・七夕祭り ・ブルーバード →	(9月)・ダンスの練習 ・親子運動会（11月） ・職場体験学習（12月） ・誕生日会 →	(10月)・バースデー ・七五三参拝・ピクニックマラソン大会 →	(11月)・クリスマス会 →	(12月)・ピクニック（2月） ・豆まき ・写真撮影 ・試食会 ・お別れ会 →	(1月)・誕生日会 →				
家庭連携との	・保護者の生活を理解し、子育ての悩みや喜び等と共に感しながら、信頼関係を築いていく。 ・持ち物等は、連絡帳で確実に知らせる。					・ブルーあそびの持ち物について知らせ準備をお願いする。 ・疲れやすい時間なので十分な睡眠時間と栄養バランスのとれた食事などについて連絡帳でお願いする。	・活動量が多い時期なので十分な睡眠時間と栄養バランスのとれた食事について、連絡帳で再確認する。 ・運動会、マラソン大会への取り組み等を話し、成長を共に喜び合う。		・行事に参加する姿や一年間の成長の様子を伝え喜び合う。 ・進級に向け、連絡帳で準備等について知らせる。				
かわいい支援の子か	・園庭開放 ・お散歩時に地域の人々と接觸を交わす。 ・保護者の子育ての悩みに耳を傾け助言する。					・園庭開放 ・お散歩時に地域の人々と接觸を交わす。 ・保護者の子育ての悩みに耳を傾け助言する。	・園庭開放 ・お散歩時に地域の人々と接觸を交わす。 ・保護者の子育ての悩みに耳を傾け助言する。	・園庭開放 ・お散歩時に地域の人々と接觸を交わす。 ・保護者の子育ての悩みに耳を傾け助言する。	・園庭開放 ・お散歩時に地域の人々と接觸を交わす。 ・保護者の子育ての悩みに耳を傾け助言する。				
評価・反省													

園長	主任保育士	担任
IV期(1月～3月)		
につき自信を持ってのびのびと行動出来るようになる 参加し楽しみを味わいながら意欲的に取り組む		
つ		
環境構成	配慮(時期に応じた 保育士の基本的な心構えや 保育を構築する留意点)	
	・生活の仕方について 一人一人の自立の 具合を確認し、 個別に援助しながら 進級に向けて自分から 伝えるよう励ます	
・ルールの遊び ・椅子取りゲーム ・しっぽとりゲーム	・子どもの思いを 受け止めたり、友達との つながりを大切にし、 仲間意識の芽生えを見守る	
・自然の絵本	・暖房、換気、寒さへの 対応をし、安全環境に 留意する	
	・一人一人の個性や 表現の仕方を大切にし、 のびのびと 表現できるようにしていく	
・劇に必要なものを作る ・牛乳パック	・一人一人と楽しく 会話しながら、 何をしたいのか、 何を作りたいのかを 理解し、援助する	
満足感や達成感を味わえるようにする		
リズム、食習慣を把握し、発育、発達に適した生活を		
生会 ピクニック(上庄めぐり)		
卒園式		
や発達と共に喜び合い、子どもの自信につなげていく		
返り、共に喜び合う、また、進級に向けて		

平成 年度 年間指導計画

4歳～5歳

園長	主任保育士	担任

I期(4月～5月)				II期(6月～8月)				III期(9月～12月)				IV期(1月～3月)				
ね ら い	・新しい環境の中で生活の仕方を知り、安心して遊ぶ。・保育士や友だちに親しみを持ち、安定した中で好きな遊びをする。				・友だちや、異年齢の友だちと関わるながら、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。・友だちとの関わりを広げ、共通の目的をもって、集団で活動する事を楽しむ。				・様々な道具を使い、運動遊び、集団遊びを通して体を動かす事を楽しむ。・人の話を聞く、自分の思いをことばで伝える楽しさを味わう。				・健康・安全など必要な生活習慣が身につき快適に過ごすようになる。・友だちとの関わりを深め、感じたこと、イメージしたことを様々な方法で豊かに表現してあそぶことを楽しむ。			
	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	教育内容	環境構成	配慮（時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点）	
食 育 ・ 健 康	食事の仕方を知り楽しく食べる。 自分で出来る事は進んでしまうとする。 固定道具を正しく使う。	身の回りの始末ができるようにマーキジルを貼る ・スクーター	一人ひとりの生活の仕方を見守り、身に着くように励ましていく。 自分で出来ることは、自分しながら生活する。 温度計 夏の遊びを通して解放感を味わう。	足拭きマット タオル置き	ランチョンマットを使って楽しく食事する。 自分で出来ることは、自分しながら生活する。 温度計 夏の遊びを通して解放感を味わう。	保育士も一緒にプール遊びを楽しむ。 自分で出来ることは、自分しながら生活する。 温度計 夏の遊びを通して解放感を味わう。	食物の収穫を通して味わったり歓喜に興味をもつ。ルールを守りながら遊び合って遊ぶ楽しさを味わう。	腎葉のカード 蟲本 バトン	約束を守ることの大切さに気づき一緒に考えながら子供たちで解決できるようにする	どのメニューも食べられるようになる。 友だちと一緒に戻っこやゲームを楽しむ 網羅的、あやとりを楽しむ。	楽しく食事をする 勇闘気を作る 嬉しい食べ物も少しは食べようとする	体を動かす事の楽しさを思いっきり遊ぶ事で知させていく 嬉しい食べ物も少しあればよいとする	楽しく食事をする 勇闘気を作る 嬉しい食べ物も少しあればよいとする			
人 間 関 係	保育士や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 当番活動をする。 友だちや先生の話を最後まで聞く。	・三輪車 当番カード	保育士も一緒に関わるながら、遊びの楽しさを伝えていく。 当番活動をする。 友だちや先生の話を最後まで聞く。	玩具	遊びの中で自分の思いを話し相手の思いに気づく機会を守る。 小学校や清水保育園との交流をする。	安心して自分の思いを伝えたり ゆったりとして雰囲気を作る。 顧客やルールの大切さに気づかせる。	気の合う友達と遊ぶ。 自分の思いを相手に伝え、友達の考え方や思いを受け入れようとする。		思いをうまく伝えられない子共には保育士が受けとめながら仲立ちをする。	自分の意見を主張したり、友だちの考えを、受けいれたりしながら遊びを進める見えた事や、聞いたことを伝える。					共同の道具や用具を大切にし譲り合う気持ちを育てるようになる	
環 境	花や動物の名前を覚え親しみを持つ。 遊びの中で自分の思いを伝えようとする。 避難訓練に参加する。	図鑑を用意する。 紙芝居を見る。	うまく伝えれない子どもには、その気持ちが伝える事ができるよう援助する。 おさないかけないしゃべらない	色々な生き物について知る。 七夕お詫会に参加する。 地域の行事を知る。	図鑑	生き物などについて興味や興心が持てるようにする。	季節の移り変わりに気づき自然に触れる。(木の実・虫・草花) 簡単な文字や数字を書く。	虫かご・あまりワークブック 鉛筆	身近な自然に慣れながら感動を子供に伝えていく。 正しく鉛筆を持つ。	冬の事象に興味をもちか騒動したり疑問をもったりする。・クリスマス会に参加する。カルタとりやカード遊びをする	文字や数の興味を探求する カルタカード	歌や文字に驚きや質問があった時は遊びの中で一人ひとりに聞きわかりやすく伝える				
言 葉	返事や挨拶を元気にする。 絵本や紙芝居を見る。 簡単な文字を読む。	興味や興心のある 絵本や紙芝居を用意する。 読み聞かせしていく。	保育士が明るく挨拶をし明るくふるまう。身近な物から文字に興味を持たせていく。	色の名前を知る。 短冊に願い事を書く。 七夕・お化けに関する絵本を見る。	色紙・短冊 蓋本・紙芝居	色の名前が把握できているかを見る。読み聞かせる事で本好きになるようにする。	数・量・形などに興味を持つ。 ことは遊びをする。 (しりとり・空を飛ぶものはなど)		遊びを通して数・量の違いや言葉遊びの楽しさを知らせる	創造遊びを楽しむ。 いろいろな出来事を話す。 豆まきについて話を聞き参加する	CD 絵本 紙芝居	大きな声で歌うか泣かずにセリフを言つたり名前を言つたりできるようになる。				
表 現	指遊びを楽しんだり、音をよく聞ききれいな声で歌う。 描いたり作る事を楽しむ。 曲に合わせて、体を動かす。	CDデッキ・のり 画用紙・クレヨン	音をよく聞けるよう大小の区別をしたり、高い低いが解かるよう指導する。	鼓膜の練習をする。 七夕飾りを作る。 絵の具を使う。	ポンポン カラーガード 折り紙・絵の具	遊びの中で楽しみながら練習で遊ぶ一モノに慣れる。 身近な素材を使って遊びに使う物を作る。(パック作りなど)	巻盤ハーモニカに慣れる。 身近な素材を使って遊びに使う物を作る。(パック作りなど)	巻盤ハーモニカ 色画用紙	無理のないペースで楽しみながら慣れられるように配置する。	みんなの前で発表する(劇・お別れ会) イメージを広げ描いたり作る事を楽しむ(鬼のお面・絵画)	巻盤ハーモニカ 色画用紙 のりクレバス	一人ひとりの表現の仕方を認め取り組みを養め自信をもたせる。				
安 全 管 理	・固定道具の点検をする。・砂場やボールの点検をする。 ・ラインを引く。 避難訓練 →				・固定道具の点検をする。・砂場やボールの点検をする。 ・ラインを引く。避難訓練 →				・固定道具の点検をする。・砂場やボールの点検をする。 ・ラインを引く。温蔵器の準備 避難訓練 →				・固定道具の点検をする。・砂場やボールの点検をする。 ・ラインを引く。 避難訓練 →			
健 保 計 画	(4月) 内科検診 (5月) ぎょう虫検査 足の型とり ひるね用のマットレスの衛生管理・身体測定 →				(6月) 歯科検診・身体測定を実践し、健常状態を把握する。 尿検査・季節の変化に留意し活動と休息のバランスに配慮する。 ひるね用のゴザの準備と衛生管理・身体測定 →				(10月) 内科検診・花の植え替え (12月) 歯科検診 足の型とり ぎょう虫検査 ひるね用のマットレスの衛生管理・身体測定 →				(2月) 尿検査 ひるね用のマットレスの衛生管理・身体測定 →			
行 事	(4月) 入園式・花祭り (5月) 公民館と小学校の遠足(大牟田動物園)・運動会・ピクニック 誕生日会 →				(6月) プール開き (7月) 植樹祭 (8月) 七夕祭り・お化け屋敷 ・ピクニック ・誕生日会 →				(9月) ダンスの練習 (10月) 親子運動会 (11月) 砂場体験学習 (12月) 着つき大会 ・バース遠足 ・誕生日会 →				(1月) ピクニック (2月) 豆まき・ピクニック (3月) お別れ遠足 ・写真撮影・試食会 ・お別れ会 ・誕生日会 →			
家 庭 連 携 と の	・口頭や連絡帳で、園での様子を伝え、子どもの成長を喜ぶなどして、信頼関係を築いていく。				・基本的な生活習慣、生活リズムが、子どもの健康な体を作るため大切な事を伝え、家庭でも取り組むよう働きかける。 ・プールカードに必ず、記入してもらう。				・保育士が子どもと一緒に行事などを、楽しむことによって、子どもの成長の様子や重り置もうとする姿が、子どもの遊びを理解してくれる。				・進級に向けて、子どもの成長や発達と共に喜び合い、子どもの自信につなげていく。 ・子育ての悩みや、生活の困難な問題などを、相談できる窓口を解放する。			
か 地 域 と の 支 援 の 子 か	・散歩やピクニックに出かけた時、周囲の人と挨拶をする。 ・園庭を開放する。				・散歩やピクニックに出かけた時、周囲の人と挨拶をする。 ・地域の人ひとと、触れ合いを持ち交流をする。 ・園庭を開放する。・地域の祭りを見に行く。				・散歩やピクニックに出かけた時、周囲の人と挨拶をする。 ・中学生との交流をする。 ・園庭を開放する。・警察署にかけ、働きを知る。				・散歩やピクニックに出かけた時、周囲の人と挨拶をする。 ・消防署にかけ、働きを知る。 ・園庭を開放する。			
評 価 ・ 反 省																

平成 年度 年間指導計画

5歳～6歳

園長	主任保育士	担任
永松	三吉	高橋

ねらい	Ⅰ期(4月～5月)			Ⅱ期(6月～8月)			Ⅲ期(9月～12月)			Ⅳ期(1月～3月)		
	教育内容	環境構成	配慮(時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点)	教育内容	環境構成	配慮(時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点)	教育内容	環境構成	配慮(時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点)	教育内容	環境構成	配慮(時季に応じた保育士の基本的な心構えや保育を構築する留意点)
食育・健康	生活習慣について石屋認し、自分で出来ることは、自分でする。ルールを守って楽しく遊ぶ。	トイレの使い方手洗い、消毒固定遊具など	噴水立場を伝えたりして好き嫌いせずにはいに限ることを理解する。食い残しを減らす工夫にする。	図鑑や絵本で身体のしくみや働き、食べ物との関係について調べる。汗が出たら、着替える。	食育カルタ食育絵本	子ども達にわかりやすい絵本等を使って話します。自分で判断して着替える。	時計を見て行動することができるようになる。正しく箸を使う。浴発見に体を郭かず	時計食育かるぽーリバトンライン 鉄棒	決まった時間で作業をする音かげます。外で活発に体を動かすよう働きかけます。	自分の健康に关心を持ちいろんな食品を食べる。寒さに負けず体を十分動かす。	食育カルタぱわとひぽーリバトン鉄棒	食品の栄養学について考え方せり進んで何でも自分で食べることができるようにする
人間関係	好きな遊びを楽しんだり友達と協力して遊ぶ。ルールのある遊びを楽しむ。	順番を守り譲り合ふう働きかける	どんなルールにする?と自分たちでルールを考えてできることにする。	ルールのある遊びをする。遊びの中で相手の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりする。	ホールバトン固定遊具	友だちと一緒にチームを作って遊ぶ。楽しさを分らせる。	ルールのある遊びをする。ドッヂボール、リレー、かけっこ高跳びくじらぼなど。感謝言葉を送り合おう。	ホールバトンラインなれどびなど	運動会など目標に向けてみんなで協力しながら取り組む。	小学校訪問などを通して友だちとの関係が深まつたり自分の生活を楽しむ。ルールのある遊びをする。	ぱわとひラインボール鉄棒	友だちとのかかりの中で長所短所はどの様な事を感じながら接するうがり。
環境	植物に水やりをするなどして世話ををする。入園式に参加し年長児には、た喜びを感じる。	ジャーロ鞄中バケツ	園外に出かける時は事前の下見をしておく。危険箇所の把握。事前の話し合いを持つ。	絵本時計カレンダー	当番活動や保育士の手伝いを積極的にする。日常生活の中で数量時間、曜日、文字などに关心を持つ。	四季の区別がはっきりとでき実際には見たり指示したり、具体的にわかりやすいように伝える。	絵本散歩に出かけ色々な物に接する	収穫を喜び、自然物を使って様々な遊びを楽しむ。生活の中での理解を深める。	冬から初春の自然に关心を持つ。植物の変化に気付く。小学校入学に期待を持つ。	図鑑移動用具を手て固定遊具に出かける	絵本や図鑑を見て友だちと調べ合ったり知識を深め、小学校を見学する。	
言葉	紙芝居、絵本など見聞ました後、感想や内容について語る。ひらがなが覚める。	端番がおいたより帳の端前を読んで配る	名前や身近にあるものに自己向けるように声をかけ言葉に対して面白さを感じるようにする。	紙芝居絵本カルタ	生活遊びの中で必要な言葉がわかり使おうとする。ことはし事、しない事を言葉で表現したり、わかるない事を伝ねる。	自分が関心を持った事を保育者や友だちに伝えることができる。	吸だちのやり取りの中で思いを伝えて友だちの音も注意して聞く。文字に関する表示に接する	絵本フクダリえんぴつ消しゴム	聞く時は話をしている人を見、正しい鉛筆の持方や姿勢を伝える。	文字や数を使って遊びを広げる。状況や場面、相手に応じて適切な言葉を使う。	えんぴつワクマ消しゴム	聞く事を楽しんだり絵本を声を出して読んだりする。まわりにとて読みだされる。
表現	色々な素材を用いて、自分の表現を楽しむ。正しい音程で曲の感じをつかんで歌う。	クロヨ、絵の具画用紙、ハイミ折紙、のりなど	正しい姿勢で歌うよう働きかりをする。自由に表現することを楽しむ。折紙製作をする。	ホールガムCD CDテック折紙のりクレパス	季節の歌を歌うかたまり、しゃべる人、こんなのがね、こみちぎ。	伴奏に合わせて正確なリズムと速度で歌うことができるようにする。	歌を歌ったり、合奏をして音楽に親しみ。全身を動かしてリズム運動をする。	太鼓(大・小)シンバルホールバトン折紙のりクレパス	目標に向かって工夫しながら取り組む。	季節の歌、卒園式における歌を歌う。合奏を楽しむ。自由に表現することを楽しむ。	太鼓(大・小)ホールガムCDテック折紙のりクレパス	気持ち込んで歌ったり、楽器を奏でたり移動する動きかける。
安全管理	園庭の草取り、石ひろい、水まき、園庭の点検、固定遊具の点検、害虫駆除、こいのぼりの設置、点検、消火器設置場所の確認、避難訓練		園庭の草取り、石ひろい、水遊び遊具の点検、ホールの水質管理、扇風機、冷房器具の点検、蚊などの害虫駆除、気温湿度採光等に気をつける室内押入れ等の暖気避難訓練		石ひろい、害虫駆除、園庭の草取り、避難訓練、クリスマスに備する物の確認、もちろん椅子の椅子の準備、暖房器具の点検				固定遊具の安全点検、避難訓練、ひな人形、飾りを用意する。暖房器具の点検			
保健計画	個人の発達状況、既往症、予防接種状況の把握手洗いの励行、きょう虫検査、身体測定、内科検診		歯科検診、気温の変化による衣服の調節、下痢のひどい子どもは様子を見て、ホール遊びはさせない。水筒の補充を確認する。皮膚、頭髪の清潔強化夏にかかづれの病気の把握、休息など、身体測定		季節の虫検査、インフルエンザその他ライス性疾患等の予防、身体測定、歯科検診				手洗いうがいの励行、薄着の励行、身体測定、インフルエンザその他ライス性疾患等の予防			
行事	入園式、花まつり遠足 内科検診 じゃが芋振り公民館工庄小学校の運動会、きょう虫検査 足型とり		ホール開き 歯科検診 あいの里訪問、尿検査ふれあい保育 七夕お詫び会 祀園祭 清水保育園との交流会 工庄老人会とのふれあい七夕まつりホール開門		母の会総会、ダンスの練習、交通教室、親子運動会バス遠足、敬老祭、七五三お店屋さんごっこ、清水保育園との交流会、ちつとき大会、マリソン大会、クリスマス会、歯科検診、きょう虫検査 足型とり				クリエイティブ豆技 写真撮影 小学校訪問 試食会、母の会総会講演会 尿検査 お別れ会 足型とり、卒園式			
家庭連携との支援	迷迎時に園と家庭の双方の子どもの様子を伝え合い、共通理解を深める。健康管理の参考にならう身体測定、内科・歯科検診、尿検査、きょう虫検査等の結果を伝える。		ふれあい保育や園行事を通して子どもの成長や園での様子を見られるようにする。家庭での状況を把握し、園でも出来た個別対応をする。		子どもの課題を保護者と一緒に取り組んでいく。大きく成長する時期なので家庭でも十分受け止められない色々な事に挑戦する姿を受けとめてもらうよう伝える。				入学への期待が高まってくるので、小学校について伝えたり文字の読み書き、數などに対して、英、理のよいよう取り組み期待をもって入学できるように配慮してもらう。			
地域との子かかわり支援	地域の中で積極的な交流の機会を持つ。		保健所、諸機関との情報交換をし、気ばかりな子どもや家庭の支援に生かしていく。		地域の人やお年寄りとの交流を持ち、身近な人に感謝の気持ちをもつ。				小学校との連携や情報交換を元に、就学に向かって一人の課題を見直したり申し送りをしてまいり、発達の連続性を図る。			
評価・反省	新しい環境に不安もあるようですが、次第に慣れ、年長組としての役割を一生懸命果たそうとしている。年長児の行事なども喜んで参加している。		身の周りのことはほとんど自分でできるようになってきて。また友達とのトラブルもできるだけ自分で解決しようとすれば、保育に頼らうとする場面も多い。						気がかりな子どもが適切な支援を受けられるよう小学校と連絡をとる。			